



健康寿命を
のばそう!
AWARD
優良賞

Smoke Free JFE千葉

～国内初！銑鋼一貫製鉄所で就業時間内禁煙スタート～

受賞者

JFE スチール株式会社 東日本製鉄所 (千葉地区) (千葉県千葉市)

取組アクション



◆「禁煙ありえない」の雰囲気打破したきめ細かい禁煙推進活動

背景・概要

JFEスチール株式会社 東日本製鉄所(千葉地区)は、銑鋼一貫製鉄所で従業員数2,419名、うち9割以上が男性で、ほぼ完全な男社会。20年以上前は過半数が喫煙者で、事務所や作業場での喫煙が当たり前、喫煙所はコミュニケーションの場、喫煙は文化という風潮が蔓延し、禁煙による健康増進活動を受け入れる雰囲気など微塵もない状況だった。しかし、喫煙や受動喫煙の影響によるがんや虚血性心疾患、脳卒中などの発症リスクを低減し、何としても社員全員を健康にするという高い志を掲げ、JFEグループ健康宣言も受け、2017年にSmoke Free JFE千葉(以下、SFJ)を立ち上げた。

取組内容

●**事業所一丸となった禁煙推進活動** 現状把握から得られたデータをもとに課題を抽出し、次のような取組を立案・実施。①SFJの活動内容や喫煙率推移などを継続的に広報。②職場を訪問し、発言力のある人たちにSFJの応援団になってもらう。③SFJの認知度が高まったところで数値目標を設定。④禁煙外来やお試し禁煙を導入。⑤喫煙者に対する「お手紙大作戦」の実施。⑥終日禁煙デーの設定。⑦喫煙率の高い職場へ外向きタバコの講話を実施。⑧受動喫煙に対するアンケート結果の公表、リフレッシュルーム新設投資助成制度を策定。⑨元喫煙者の幹部に当活動の「広報部長」「禁煙推進部長」としてサポートを依頼。⑩事業所トップが「社員の健康保持・増進のため就業時間内禁煙を開始する」旨を宣言。⑪約半年間の「ならし禁煙期間」を経て、「就業時間内禁煙」を開始。

成果

●**喫煙率は5年間で10ポイント減。2021年4月から就業時間内禁煙を実施**

- ・屋内喫煙所ゼロ化達成(2018年1月:56カ所→2019年3月末:ゼロ)
- ・社有車内喫煙ゼロ化達成(2018年1月:48台→2019年3月末:ゼロ)
- ・タバコ自販機ゼロ化達成(2019年9月:5台→2020年9月末:ゼロ)
- ・屋外喫煙所削減中(2019年4月:102カ所→2021年7月:77カ所)
- ・禁煙外来参加者(2021年4月までにのべ203人参加、3カ月禁煙成功率:80.7%)
うち、お試し禁煙外来の効果(2021年4月までに76人参加→禁煙外来への参加:7人)
うち、お手紙大作戦の効果(2021年4月までにのべ1,213人発送→禁煙外来への参加:24人)
うち、各職場への講話の効果(2021年7月までに24所属1,029人受講→禁煙外来への参加:17人)
- ・リフレッシュルーム新設投資助成実施(8所属、10カ所)
- ・2021年4月1日より、社員を対象とした就業時間内禁煙を開始(銑鋼一貫製鉄所では国内初)
- ・喫煙率 2005年:50.0%→2011年:40.1%→2016年:38.1%→2021年4月現在:29.0%



↑2021年4月1日より就業時間内禁煙開始。
銑鋼一貫製鉄所では国内初！

評価委員による講評：中村 正和

喫煙率が高く、たばこを吸うことが当たり前といった社内風土がある製造業の企業において、屋内禁煙化と禁煙支援を会社ぐるみで実施し、16年間で喫煙率4割削減を達成した好事例です。成功した要因としては、①具体的な目標を掲げながら手順を踏んで段階的に取り組んだこと(継続的な広報活動で従業員の理解を得ながら、禁煙希望者を支援する「受け入れの活動」から、積極的に禁煙を働きかけたり、社内ルールを決めて受動喫煙をなくす「攻めの活動」へ発展させたこと)、②事業所が一丸となって取り組んだこと(現状を共有するための現地調査やアンケートの実施、それに基づく計画、元喫煙者を含めて発言力のある社員の巻き込みなど)、を挙げることができます。喫煙者への理解と配慮を大切にしながら会社ぐるみで取り組んできたことが、導入にあたって反発が予想される就業時間内禁煙を同業種の企業の中で初めて実施することを可能にしたと考えます。